

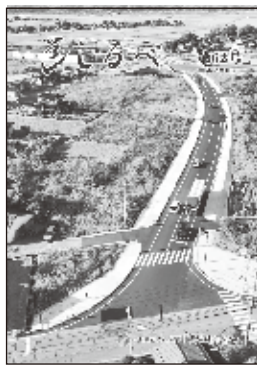
道しるべ

第62号

令和7年12月



一般社団法人 石川県舗装業協会



写真：一般県道 若部千里浜インター線〔羽咋市飯山町～尾長町〕
〈国道159号飯山町から尾長町を望む〉
(写真提供：中能登土木総合事務所、編集委員会)

目次

能登地域の一日も早い復興を目指して 国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所長 杉 本 敦	1
健康寿命とこれから 盛進工業(株) 代表取締役社長 坂 井 繁	2
～明日の青い地球への技術～ ブルーアステック 加賀アスコン(株)ブルーアステック 代表取締役社長 瀧 田 昭 彦	3
安全委員会だより(安全パトロール報告) 安全委員 吉 元 研 司 〈三友工業(株)〉	4
令和7年度 石川県土木部との意見交換会 技術委員 寺 田 龍 彦 〈林舗道(株)〉	5
宇治・平等院を訪れて 盛進工業(株) 営業係長 永 村 康 二	8
ボウリング大会優勝者 男子 丸建道路(株) 金沢支店 宮 谷 拓 海	9
ボウリング大会優勝者 女子 島屋建設(株) 金沢営業所 営業部 中 山 郁 花	10
舗装業営業10年(元気くん) 石川舗道(株) 営業部 太 田 貴 暁	11
思えばここまで来たもんだ(二人三脚) 「気が付けば25年」 沢田工業(株) 取締役統括部長 井 川 大 輔	12
2025年度日本アスファルト合材協会 「全国技術委員長会議」報告 石川県アスファルト合材協会 品質管理技術委員長 向 田 満 〈北川ヒューテック(株)〉	13
事務局アラカルト	15
令和7年度 石川県 国土と交通等に関する知事表彰	18



環境にやさしい道路づくり

石川舗道株式会社	加州建設株式会社	株式会社金沢舗道	北川ヒューテック株式会社	協和道路株式会社	沢田工業株式会社	三友工業株式会社	島屋建設株式会社	盛進工業株式会社	太陽工業株式会社	辰村道路株式会社	林舗道株式会社	丸建道路株式会社	吉田道路株式会社
----------	----------	----------	--------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------

能登地域の日も早い復興を目指して



国土交通省 北陸地方整備局

能登復興事務所長

杉 本 敦

石川県舗装業協会のみなさまには、道路行政の推進に、ご理解・ご協力いただき、感謝申し上げます。

当事務所は、令和6年能登半島地震の復旧・復興を目的に、令和6年2月16日に設置され、その後の度重なる豪雨などの災害も含め対応してきており、やっと応急など対策が進み、ここまできましたが、まだまだ復旧・復興はこれからです。

発災直後の啓開・応急復旧から現在まで、さらに今後の本格復旧・復興には、貴協会の皆様のお力は欠くことが出来ません。引き続き、復旧・復興を共に頑張るパートナーとして、歩んでいけたらと思っております。

当事務所は、能登の道路や河川、砂防、海岸などのインフラ復旧は「第一義」であり、目標を持って進めておりますが、ただ単純な復旧だけでなく、復興に向けて、どのような能登を作っていくのか等自由な意見を出して議論する「能登半島絶景街道」の取り組み等も進めており、復旧後の姿なども検討会を通して考えております。

また、建設業の将来の姿、変わっていく土木を復旧・復興の中で見せたいと思っており、新技術・新工法も積極的に取り入れ、広報にも力を入れております。他にも、マインクラフト等のゲームソフトを活用した道路の復旧計画のコンテストなどもやっております。

今みなさまが普通に使っている技術や機械も、土木に関わっていない方には、新鮮に見えたり、とても凄いことに見えたりするので、やみくもに新しいものをどんどん導入していくということではなく、必要なものを必要なだけやっていきながら…今のところ、当事務所工事を受注していただいたみなさま中心に、取り組みを聞きながら、「奥能登 土木万博」は言い過ぎなのかもしれませんが、新しいチャレンジの取り組みを広げていきながら、担い手の卵のみなさまに興味を持ってもらい、土木業界全体が変わってきていることを広報していきたいと思っております。

そのためには、すべての取り組みの基礎に、地域の守り手として皆様（企業）がしっかり体力をつけていかないといけないと思っており、これからも適正な利潤が確保出来るように変更を含めて適正な積算等を心がけることが重要で、発注者として必要な取り組みを今後も継続していきます。

貴協会の皆様には、引き続きのご支援・ご協力を重ねてお願いすると共に、工事などを進めていく中で、問題や気になるところなど何かあれば、遠慮無く連絡いただければと思います。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員各位、そのご家族のみなさまのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

健康寿命とこれから



盛進工業株式会社

代表取締役社長 坂 井 繁

社長に就任してから、気がつけば8年が過ぎました。振り返ると、就任当初に「道しるべ」へ寄稿して以来となり、久しぶりの執筆となります。この間、会社を取り巻く環境も私自身の生活も大きく変化し、月日の流れの早さを実感しています。

最近の私の楽しみは、休日に「1人予約」でいろいろなゴルフ場を訪れることです。最初は知らない方と回ることに緊張していましたが、今ではそれも含めて良い刺激になっています。

先日は、四国からお一人で加賀のゴルフ場まで来られた70代の方とご一緒しました。翌日は「朱鷺の台」へ行く予定とのことで、「時間があれば全国どこへでも行くんですよ」と、元気いっぱいに話されていました。さらに、スコットランドのセントアンドリュースへ足を運び、何日も通ってようやくプレーできたという体験談には驚かされました。

お話を聞きながら、健康で長生きするからこそ楽しめる世界があるのだと実感し、私自身も将来あの方のように全国のゴルフ場を巡れるよう、今からコツコツ体力づくりを続けていきたいと思っています。

これまでは体力維持のため毎朝散歩を続けていましたが、昨年の11月頃からエアロバイクに切り替えました。結果として運動量が安定しただけでなく、最近話題となる熊との遭遇を避けられる点でも、安心して続けられる方法となりました。

思えば入社間もない頃、ある講習で「大統領のように仕事をし、王様のように遊べ」という言葉を教わりました。当時は“仕事は全

力で、遊ぶ時は思い切り”という意味で理解していましたが、今では「健康であってこそ、仕事も遊びも充実する」という考え方に変わってきました。

健康といえば、私は40歳の誕生日の前日、夜10時半の1本を最後に禁煙を続けています。それまでに2度挑戦し、半年、1年と続いたところで「1本くらいなら…」の気の緩みから元に戻ってしまいました。3度目の挑戦でようやく成功し、健康と小遣いを手に入れることができました。

さらにこの8月には初孫が誕生し、晴れて“じいちゃん”の仲間入りを果たしました。孫を抱いた瞬間、自分の年齢をしみじみ感じるとともに、これからは孫の成長を見守るためにも、より健康に気を配っていこうと心を新たにしています。

会社としても、社員の健康を守ることは何より重要です。特に夏場の現場では熱中症を防ぐため、小まめな休憩が欠かせません。どうしても作業効率は落ちますが、命には代えられません。こうした現状が歩掛にも反映され、業界全体でより良い環境づくりが進むことを願っています。

安全で安心して働ける職場づくりは、企業の責任であり、社員一人ひとりの健康こそ会社の力です。健康寿命を延ばすことは、個人にとっても会社にとっても大切なテーマだと思います。

今後も日々できる範囲で体を動かし、心身ともに健やかに、「仕事も遊びも」楽しめる毎日を大切にしていきたいと思っています。

～明日の青い地球への技術～ ブルーアステック



加賀アスコン株式会社
ブルーアステック

代表取締役社長 瀧 田 昭 彦

(概 要) 1996年設立(運営翌年)

〈出 資:石川舗道(株)、協和道路(株)、
大成ロテック(株)〉

2024年10月1日 (株)太陽アスコン加入

2025年4月1日 工場名変更

(川北朝日合材工場⇒ブルーアステック)

2025年9月1日 新プラント出荷開始

(能 力)合材プラント 90t/h (最大108t/h、

新材74t/h、再生45t/h、サイロ100t/20t)

破碎プラント 960t/日

(As 60t/h、Co120t/h、1997年製継続使用)

(特 徴) 2工場併合&ダウンサイジング

(加賀180t/h + 太陽90t/h⇒90t/h)

- ・田中鉄工製最新鋭省エネ設備導入
- ・燃料転換(A重油⇒LPガス)による低炭素化(硫黄分ゼロ、燃焼効率アップ)
- ・グリーン電力採用
- ・骨材貯蔵変更(コルゲートサイロ⇒透光通気ストックヤード)による低含水化
- ・高効率型Rドライヤーへの更新
(間接加熱式⇒直火式)
- ・フォームド装置による合材中温化技術強化
(従来の中温化剤添加も選択可能)

↓↓↓ ↓↓↓ ↓↓↓

・省エネ&CO₂削減55%

(国の2030年CO₂削減目標46%を前倒し)

・経済産業省「省エネルギー投資促進補助金」

採択(2工場併合では日本初)稼働率65%

新プラントは地域企業が連携して建設・運営することで生産性向上を図るとともに環境規制に対する取り組みの必要性にも対応する先進的ビジネスモデルを目指しました。



プラント全景(ライトアップ)

◎ブルーアステックプラントに実装されている
田中鉄工の最新技術



低炭素燃料:LPガスの導入



エネルギー監視システム



ストックヤード①



ストックヤード②



Vドライヤー



Rドライヤー

◎脱炭素に向けた田中鉄工のその他の
取り組み

- ・GXスマートAP・リモートサポート・低炭素
素材開発・ネガティブエミッションの展開

安全委員会だより（安全パトロール報告）

日 時：令和7年11月18日（火）

パトロール先：一般県道 中尾津幡線
道路災害復旧工事
（6災7810号～7814号）

場 所：河北郡津幡町字 材木～浅田 地内

発注者：石川県県央土木総合事務所
津幡土木事務所

施工者：三友工業(株)、沢田工業(株)、
(株)ソテック、辰村道路(株)、
島屋建設(株)

参加者：協会会員各社代表者14名
安全委員5名、事務局2名

はじめに

当日は、朝から生憎の雨でしたが、「道の駅 倶利伽羅源平の里『倶利伽羅塾』大研修室」で事業概要の説明を受けた後、現場に到着するとタイミングよく雨も上がり、作業状況を確認しながらパトロールを行うことができ、その後、講評を行いました。

事業概要説明

津幡土木事務所小泉俊介維持管理課長から、能登半島地震における応急本復旧での協力についての感謝や、津幡土木管内の災害復旧工事全体における現在の進捗状況を災害申請手順等を踏まえて図面や写真を使用しながら解りやすい説明を頂きました。



安全パトロール

パトロールは、6災7814号の旭山工業団地の入口付近で、現場代理人の沖野さん（島屋建設）から、工事概要や作業状況などの説明を受け、その後、安全パトロールを実施しました。



現場代理人の沖野さんは、女性だったこともあり、気のせいかもしれませんが質問も多く、活気に満ちた安全パトロールとなりました。

現場では一部幅員が狭小な場所があったため、一方通行にて迂回路対応したなどの工夫をしたとのことでした。



講 評

今回の現場では、安全対策についての指摘などは特にありませんでしたが、安全対策や積算手法等について、意見交換を行いました。

終わりに

今回説明していただいた津幡土木事務所をはじめ各施工会社の皆様には、大変お忙しい中ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

（安全委員 吉元研司〈三友工業(株)〉）

令和7年度 石川県土木部との意見交換会

令和7年10月28日（火）、石川県地場産業振興センター第10研修室において、石川県土木部と石川県舗装業協会との「意見交換会」が開催されました。

石川県土木部から、道路整備課の松尾和弘課長、上谷高弘課長補佐、監理課の庄田孝輔主幹、監理課技術管理室の中谷健担当課長、神崎充徳課長補佐、岡田みゆき課長補佐6名に出席頂き、当協会からは会員14社の代表者をはじめ33名が参加しました。



はじめに北川隆明会長から、県下全域での工事の対応に全力で当たっているが、マンパワーが不足している中、なんとかやり繰りしている状態であり、問題解決のためには柔軟な発想で対応してもらいたいと挨拶。続いて松尾課長から、災害対応や除雪などの活動への感謝のほか、多くの工事が動いている中で課題も多く生じており、解決のために有意義な意見交換にしたいと挨拶がありました。



北川会長



松尾道路整備課長

今回の意見交換会では、11項目の課題について例年以上に活発な意見交換が行われました。主な内容は次の通りです。

1. 現場代理人の兼務条件の更なる緩和

現制度では、現場代理人の兼務する工事の現場間の移動時間が概ね30分以内又は同一市町内であることとなっていますが、同一土木総合事務所管内など兼務条件の更なる緩和をお願いします。

(回答)

現場代理人の兼務条件であるが、工事現場間の距離等については国の通知を踏まえ、工事の管理に支障が無いと考えられる範囲で設定しているところである。兼務要件の緩和については、業界全体の意見も聞きながら、慎重に判断してまいりたい。

2. As殻の指定処分地

県との協議の結果、新たに開設された処分場へAs殻の運搬が可能となった場合に、加賀地域へ運搬する場合との経済比較は必要なのか、地元車両への配慮から交通整理員が必要となった場合の必要経費は変更対応となるのかご教示願いたい。また、加賀地域よりも搬出距離が短い富山県への搬出が効率的だが、併せて県の見解を伺いたい。

(回答)

奥能登・中能登の管内においては、管内の処理施設の受入れが不可であれば、新たな処理施設に搬出してもよいこととしている。加賀地域との経済比較については、遠方へ搬出することで工事進捗の大幅な遅れの恐れがあり、搬出先としては考える必要はない。搬出時の追加費用については、国や県市町だけでなく民間の工事でも道路を利用していることから、当該工事に必要との判断が難しく、変更対応は困難だと思われる。県外への搬出については、管内の処理施設が不可能な場合、請負業者からの申し出により搬出することは可能であり、10月の通知にも追記している。

3. As殻の廃材処分

発注者側でAs殻の一時保管場所の確保をお願いしたい。また請負業者にて一時保管している場合には、借地費用や仮囲い等の管理費、一時保管場所までの運搬費等計上して頂きたい。また、再生資材を盛土材に活用するなどの新たな利用拡大や舗装復旧厚を増して廃材を現場内で再利用するなどの検討をお願いする。

(回答)

現時点では県で保管場所確保は困難である。

借地費用、仮囲い等管理費用、一時保管に要する運搬等費用についてはいずれも計上可能であるので、監督員と協議をお願いしたい。また、As 殻については、現在、国においては、合材や路盤材への混合率の引き上げ、更には盛土材としての活用など、利用促進に向けた取り組みが検討されていると聞いており、県においても国の動向を注視しつつ、引き続き利用拡大に向けた方策について、検討を進めていきたい。

4. 舗装工事の発注

付帯構造物工事については、舗装工事と切り離し分離して先行発注していただき、付帯構造物工事の進捗状況に応じて、舗装工事の発注を行うように検討していただきたい。

(回答)

地震により舗装と接続する擁壁や側溝などの付帯構造物が多く被災しており、小規模の付帯工事については、工程管理の一元化による工期短縮が期待されることから、一括発注へのご協力をお願いします。

5. 災害復旧工事における工事発注

災害復旧工事の中には、工事着手が全くできないまま契約工期が延伸となり、実際の工事着手も遅れる見通しでなかなか完了できない状況となっているものもあります。他工事への技術者配置等の観点から、工事の一時中止や、適切な工期設定をお願いしたい。

(回答)

今後の工期設定に当たっては、全体工程や他工事との調整状況等を総合的に勘案し、可能な範囲で見通しの立つ工期となるよう配慮してまいります。また長期にわたり工事着手が困難な工事は、これまでも協議のうえ工事の一時中止を実施してきたところであり、今後も必要に応じ柔軟に対応してまいります。

6. 「余裕期間制度」と「債務負担行為や繰越制度」の発注件数拡大

工事完成日の期限が偏る傾向にあり、作業従事者がハードワークとなって健康管理等に支障をきたすことが懸念されます。余裕期間制度及び事業年度を跨ぐ債務負担行為や翌年度への繰越制度を利用して、集中的工期を避

けた完成日となるようお願いします。

(回答)

工期の設定にあたっては、これまでも工種や工事規模、現場条件、過去の実績等を総合的に考慮し、適切な工期となるよう努めてきたところです。また施工時期の平準化については、引き続き余裕期間制度の活用に加え、債務負担行為や繰越制度なども積極的に活用するなど、今後とも公共工事の平準化および適切な工期設定に努め、適時適切な事業の執行を図ってまいります。

7. 夜間工事における残土処分及び碎石等資材の調達

残土処理施設は夜間の受入れを行っておらず、夜間工事で直接処理施設へ搬出できない場合は、付近の土場に仮置きし昼間に積替え搬出する必要があります。また、碎石等の資材を調達する際も、昼間に付近土場に搬入仮置きし、夜間施工時に再運搬する必要がありますので、施工条件に応じて、積替え費用など適切な設計計上をお願いします。

(回答)

夜間施工工事の場合など、施工条件により建設副産物や資機材の搬入搬出方法に差異が生じる場合については、現場条件に即した運搬方法で計上することは可能であると考えており、必要に応じて監督員と協議されたい。なお、監督員に対しては、引き続き、(積算説明会などを通じて)現場条件に応じて適切に計上するよう周知してまいりたい。

8. 施工条件に応じた設計積算

急速施工が求められる工事では、日当り作業量を低減するなど、適正な積算計上をお願いします。特に交差点部は、施工条件に大きく左右されるため、施工者から参考見積りを徴取し、変更設計で適正に計上頂きたい。

(回答)

急速施工における積算については、急速施工用の標準歩掛を採用しているほか、継続的に時間的制約を受ける場合においては、労務費等の割増しなど、施工条件に合わせた積算をしているところです。しかしながら、標準歩掛を採用することが不適である場合につい

ては、見積を採用することとなりますので、監督員と協議願います。

9. 快適トイレの設計計上

舗装工事において快適トイレとして原則設置することを標準化し、当初設計から計上することは出来ないか。また、自社で設備を保有し、現場で使用した時の変更精算はどのような精算となるのか、ご教示願います。

(回答)

快適トイレの設計計上については、国土交通省の積算基準書に準拠し、変更設計にて実際に利用した期間の金額を計上することで、実態に即した精算ができるような対応としている。また、現行要領では、リース品として月ごとにかかる費用の計上としており、自社保有品（購入品）の費用計上についての運用は認められていない。快適トイレの上限額については、皆様方からの意見があった旨を、国に伝えてまいりたい。

10. 熱中症対策の事務簡素化

現場環境改善費における避暑（熱中症対策）・避寒対策費の計上については、変更時に熱中症対策の詳細について報告協議しなければならないなど、事務が煩雑になっているので、県全体で考え方を統一して、変更前の報告協議の簡素化や積上げ項目の事例明示などの運用手法について工夫を行っていただきたい。

(回答)

変更計上にともなう現場環境改善費の完了報告（実施状況の分かる写真など）は、避暑（熱中症対策）・避寒対策以外の項目のものと合わせての提出で問題ない。今後、上記対応を通して、事例集の作成など、周知の工夫について検討してまいりたい。

11. 真夏時期現場での積算体系

真夏日での夏期単価を導入するなど作業効率低下を考慮した積算体系について、国への働きかけをお願いします。また、真夏の現場作業を休む夏季休工に対する国の動向についてご教示願います。

(回答)

作業効率低下に伴う夏期単価の導入については、各種会議等を通じてご要望があった旨

を国に伝えてまいりたい。また、国では猛暑となる7月、8月を休工にできる工事を試行しており、受発注者の協議により猛暑期間の休工が可能なことを特記仕様書に明記し試行しているが、具体的な取り組み内容等は検討中と聞いている。

○その他報告等

一連の質疑応答後、協会事務局より昨年度の要望事項のうち、舗装修繕工事における縦横断面図の作成費用及び施工時期や工期延期への配慮などについてのお礼がありました。

一方、県からは、中温化アスファルトに関して業者からの提案があった場合には採用に対し前向きに検討していくとの報告がありました。

意見交換後には、中谷監理課技術管理室担当課長より、奥能登震災関連での協会の対応に対してのお礼とともに、今回の意見交換会でAs殻の問題について各社が強く要望している事態をうけ、関係部局に対しても強く働き掛けていきたい。柔軟な発想が必要であり今後とも皆様のご意見を伺いたいと挨拶がありました。



中谷技術管理室担当課長

最後に、瀧田昭彦 舗装業協会副会長からは、我々業界も全力で頑張ってきた中でいろいろな課題について話をさせていただいたが、県のほうでも実現に向けてよろしく願いますとの閉会挨拶がありました。



瀧田副会長

今回の意見交換会は今後の舗装業界・協会活動に有意義で終えたことを報告します。

（技術委員 寺田龍彦〈林舗道(株)〉）

宇治・平等院を訪れて



盛進工業株式会社

営業係長

永村 康二

今年の5月に『世界遺産・平等院』まで行ってきました。

今までも京都は何度か訪れていますが、その時は京都市内ばかりで、宇治までは足を延ばせず、ずっと訪れたいと思っていましたので、念願の訪問となりました。

当日の朝、金沢を出発し、昼前には平等院に着きました。目的地に着いた時、雨がぽつぽつと当たっていましたが、やはりゴールデンウィークの京都だけあって、さすがに観光客や車、外国からの観光客も多かったです。



平等院表参道を抜けて入場すると、『国宝・鳳凰堂』が目の前に現れました。よくテレビなどで映像を見たことがありますが、第一印象は思ったよりも小さく感じました。建築の知識は疎いですが、造りの精巧さや色彩の鮮やかさに目を奪われました。

資料をみると、平安時代後期、天喜元(1053)年に、時の関白・藤原頼通によって建立された阿弥陀堂です。華やかな藤原摂関時代をしのぶことのできる唯一の遺構として、貴重な御堂です。



最も大きな特徴は池の中島に建てられていることで、あたかも極楽の宝池に浮かぶ宮殿のように、その美しい姿を水面に映しています。鳳凰堂を正面から見た姿が、翼を広げた鳥のように見えることと、屋根上に1対の鳳凰が据えられていることから、江戸時代の始め頃より『鳳凰堂』と呼ばれるようになりました。鳳凰堂は東方に面して建てられ、阿字池を隔てて西方に極楽浄土があることを示しています。

2012年から2014年にかけて大規模改修が行われ、創建当時の色彩や姿に復元した現在の姿を見ることができるのですが、今から1000年も前に立派な建造物を造られた技術、そして数多くの精巧な作りの仏像に、ただただ感動でした。

その後、伏見稲荷大社まで、足を延ばしました。全国に約30,000社あるといわれるお稲荷さんの総本宮です。

伏見稲荷大社といえば千本鳥居が有名です。伏見稲荷大社は、稲荷山という標高233mの霊山にありこの稲荷山全体が神域となっています。

ただ、残念なことにせっかく近くまで行きましたが、雨が強くなり気温も下がってきたので名物の赤い鳥居の千本鳥居や山頂までは断念しました。また次の機会にでも時間を作り、ゆっくり探索したいと思います。





ボウリング大会優勝者 男子



丸建道路株式会社

金沢支店 宮谷 拓海

この度9月12日に行われました第24回ボウリング大会におきまして、優勝させていただきましたありがとうございます。私自身、入社2年目でボウリング大会には初めての参加になります。去年は地震の影響で開催できなかったため、今年は協会役員の皆様のご尽力のもと、無事開催されて参加できたことに感謝いたします。道しるべを投稿させていただくにあたり、私が「競技」として取り組んでいるボウリングについて話をしたいと思います。

私は小・中学校ではサッカーでGKをしていたのですが、中2の時に鼻を骨折するケガをしてしまい満足にサッカーをできない時期がありました。そんな時にボウリングと出会いその魅力にはまり、気づけばボウリング部のある高校へ進学していました。そこで当時の先輩に影響されて、「両手投げ」という投げ方をしています。回転とスピードが速く、ピンがよく弾くため、若者を中心に人気な投げ方です。

部活を通してボウリングの難しさと奥深さを知り、投げるのが楽しくて、多い月には500G以上投げていたと思います。練習の成果もあり、高校2年生になった頃から全国大会への出場や国体選手になることができました。今も競技としてボウリングを続けており、年に2、3回ほ

ど全国大会に出場しています。全国大会で予選通過し、入賞することを目指して週に3回ほど練習をしています。

ちなみにボウリングを初めて9年になりますが、最高スコアは300点（パーフェクトゲーム）で、今までに30回ほど出したことがあります。大会成績では、全日本選手権のチーム戦で6位入賞したことがあります。

このようにボウリングを続けられているのは会社や先輩方が、理解してくれて送り出してくれているので感謝しかありません。今回のボウリング大会も上司から「新人として名前を売るのも営業の仕事だ」と背中を押してくれたため優勝することができたのではないかなと思っています。

私はいろいろな方の協力のおかげで今の生活があります。生涯スポーツであるボウリングを続けながら、丸建道路の一員として役に立ちたいと思っています。今はまだ迷惑をかけていることもありますが、関わってくれている方に感謝し、少しでも恩返しをしていけるように公私ともに励みたいと思います。





(一社) 石川県舗装業協会
第24回ボウリング大会成績

〔令和7年9月12日(木):レジャーランボウル〕
協会員13社 124名参加

団体成績 ハンディキャップ込 チームトータルスコア		
優勝	丸建道路(株)	2,240点
準優勝	協和道路(株)	2,171点
3位	辰村道路(株)	2,096点

男子
個人成績

ハンディキャップ込 2ゲームトータルスコア ☆ハイゲーム 宮谷 拓海 224点		
優勝	宮谷 拓海	丸建道路(株) 406点
準優勝	川端 繁樹	協和道路(株) 381点
3位	西出 寛樹	北川ヒューテック(株) 358点



ボウリング大会優勝者 女子



この度の舗装業協会ボウリング大会で、まさかまさかの2連続優勝には自分でも驚きました。とても豪華な景品をいただきましてありがとうございました。

私は島屋建設株式会社の営業部に所属しており、主に入札や契約業務を担当しています。そんな私が社会人になってから大切に感じたことがあります。それは挨拶です。

毎日何気なく交わしている「挨拶」ですが、たった一言のやり取りがとっても大切なコミュニケーションの一つになっていると思います。朝の「おはようございます」や仕事終わりの「お疲れさまです」その一言で、気持ちが明るくなったり、その場の雰囲気が和やかになったりすることに気づきました。

会社に入社したての頃、初めての職場、慣れない環境で一緒に仕事をしていく社員の方の名前と顔もまだ一致していないくらいの時期、当たり前のことですが社員の方と社内ですれ違ったときに挨拶を交わす。すると、次に自分から何か聞きたいことがあったときに話しかけやすくなったと感じました。

もちろん、挨拶するときは相手の顔を見るわけですから自然と社員の方の顔と名前も一致するように。

また、朝、出社したときに誰も声をかけない静かな空間では、どこことなく冷たい空気が流れてしまう気がします。ですが、そこで挨拶を交わすことでその場の雰囲気が柔らかくなり「今日は寒いね」などの何気ない会話にもつながりやすいと感じました。

島屋建設株式会社

金沢営業所 営業部 中山郁花

ふみ か

幼いころ、親から「挨拶だけはきちんとしなさい」と言われて育ちました。その意味が社会人になってよくわかりました。挨拶する習慣を身につけさせてくれた両親にとっても感謝しています。

挨拶を続けることで、自分自身の心も前向きになります。朝に「おはようございます」と言うことで、一日の始まりを気持ちよく迎えられるし、「ありがとうございます」と感謝を伝えることで、周りの人への思いやりの心を持つことができます。挨拶は相手のためだけでなく、自分を成長させる行動でもあると思います。



社会で働くうえで、挨拶は基本中の基本。人と関わっていく中で一番シンプルで大切なことだと私は感じます。

これからも一言一言を大切に、笑顔で挨拶できる自分でありたいです。



女子 個人成績		ハンディキャップ込 2ゲームトータルスコア
☆ハイゲーム	中山郁花	165点
優勝	中山郁花	島屋建設(株) 274点
準優勝	杉本智子	北川ヒューテック(株) 270点
3位	松本千愛	加州建設(株) 270点



舗装業営業 10 年



石川舗道株式会社

営業部 太田 貴 暁

私は、舗装業界に携わって10年になります。舗装業界に来るまでには大学卒業後、医療関係の仕事をしていて、各病院を回り各申請書の説明や検診検体を回収等の営業をしておりました。そこから転職をして、お土産お菓子の開発の仕事をしていました。お菓子の開発は、工場内にて試作を繰り返す日々であり、小さな頃からサッカーなどをしていた自分からしたら息が詰まる仕事だと感じました。そこで前職の営業の方が向いていると思い、縁もあり石川舗道株式会社に入社いたしました。

まったく経験の無い建設業の仕事ということもあり、入社前は仕事内容等まったく分からず大変不安だった記憶もありましたが、営業の先輩や工事の先輩によく教えてもらい、少しずつ仕事も覚えられ、そして営業という職業柄初めて会う人も多く、色々なお話しも聞けるなど楽しく10年続けてこられたかと思えます。

また、営業はゴルフくらい出来ないとダメと言われ、最初は嫌々始めたゴルフですが、クラブを握って2日目にラウンドをしたら162も叩いてしまいました。地面に止まっているボールにまともに当たらず大変悔しい思いをし、なんとか恥ずかしくなくラウンドを回れ

る様になろうと練習している内に、ゴルフにすっかりはまってしまい、今では年間25ラウンドほどプレイするようになりました。

そして弊社社員の15人程度で年2回開催されるゴルフコンペも、社員同士和気あいあいとした雰囲気で開催され大変楽しくさせて頂いています。40歳を過ぎてからゴルフという趣味を見つけられ大変うれしく思います。



最後に石川県舗装業協会の皆様、これから仕事も忙しい時期となり冬の除雪も始まります。今期も事故無く皆様にご健康に過ごされて、各現場やボウリング大会等でお会いできるのを楽しみにしております。



(一社) 石川県舗装業協会

令和7年11月5日(水): 朱鷺の台カントリークラブ (肩丈台)

		G	H	N
優 勝	西田 浩 (太陽)	104	31	73
準優勝	島 洋之 (島屋)	107	33	74
3 位	出倉大和 (三友)	99	23	76

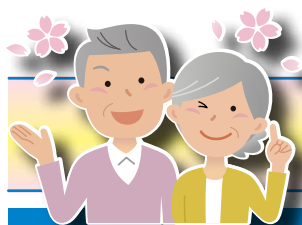
ベスグロ賞…北川 隆 明 82

石川県アスファルト合材協会

令和7年10月15日(水): 小松カントリークラブ

		G	H	N
優 勝	北川 隆 明 (北川)	71	8	63
準優勝	丹 園 茂 樹 (沢田)	95	24	71
3 位	遠 藤 隆 徳 (能登)	88	15	73

ベスグロ賞…北川 隆 明 71



二人三脚

思えばここまで来たもんだ

銀婚式



「気が付けば25年」

沢田工業株式会社

取締役統括部長 井川大輔

令和7年10月で結婚25年が経ちました。「妻に25年経ったね。銀婚式だね」と言われるまで気付きませんでした。

25年を振り返ると、子供が小さい時は毎年ディズニーランドに行っていました。小学校高学年になると息子がサッカーを始め、それからは年に一度旅行に行くかどうかという感じでした。子供の反抗期には「言い方がきついから構わないで」とよく言われたのも思い出します。

当時は仕事も少しずつ任されてもらえたのですが要領が悪く毎日がほぼ残業で休日は趣味の野球・ゴルフとほとんど家にいなくて、子育て、家事、犬の世話などは妻任せでした。あまり良く思われていないと思いますが、その分仕事には専念させてもらえたので感謝という言葉しか思いつきません。

ここ最近では、息子と娘の就職先も決まり少し落ち着いて来たかなと思った矢先に、昨年の能登半島地震で実家が半壊し、4月から両親との同居生活が始まりました。

二世帯住宅も考えたのですが、妻と両親に反対されたので少しでも負担が減るように妻の実家のそばに家を建てる事にしたのですが、同居生活が始まり、最初の頃はお互いの不満

のサンドイッチとなりどうして良いか分からなくて両方に腹を立てていましたが、色々な方の意見を取り入れ両方に対し笑顔で応えるようにしたら、少しは不満が減ってきました。

両親も近所の方が優しく接してくれるみたいで、グランドゴルフや健康マージャン、お茶会などに誘ってもらい充実しているみたいです。

妻の方は毎日両親の夜ご飯を作ってくれているので、「何かしたい事ない？」と聞いたら「月に一度、何もしなくても良い日がほしい」と言われました。

「ああ、また苦勞をかけてるなあ」と思い、子供の大学発表など県外の予定がある時にはなるべく同伴し、気分転換してもらう事としました。

先日も、嫁の両親の体調があまり良くないと聞いたので、知り合いの紹介で山代温泉に行く事を進めたら特別室に変更してもらったり、料理もグレードアップしてもらったみたいで大変喜んでもらえました。

今回の依頼を機会に、今後も妻と両親に対し感謝の気持ちを忘れず優しく接していければと思います。



2025年度

日本アスファルト合材協会「全国技術委員長会議」報告



令和7年10月10日（金）に（一社）日本アスファルト合材協会の2025年度「技術委員会」「全国技術委員長会議」が、団体会員29名、日合協技術委員24名、日合協技術部会員8名など計67名が出席し、仙台市で開催されました。また、前日には懇親会が開催され、41名参加し親睦を深めました。小戦が団体会員の石川代表として出席しましたので当日の会議次第に沿って概要を報告します。

1. 委員長挨拶

守安技術委員長は、ロシア・ウクライナや中東などの不安定な世界情勢と貿易摩擦等により世界経済は不透



守安技術委員長

明な状況であること、また日本国内では資材・労務・物流の各コストの高騰と円高傾向にある点を触れられ、懸念であると話されました。続いて、担い手不足や高齢化と言った構造的な課題が深刻化し、合材工場の経営はますます厳しい現状にあるという事を述べられました。

更に、合材製造は2024年3,550万tにとどまり、1992年の8,000万tをピークに最低を更新しているという状況を話され、業界に対する危機感を訴えられました。

このような事実を踏まえ、技術を担う者が合材工場の経営を支えて、未来への備えを持って行きたいと挨拶されました。

石川県アスファルト合材協会

品質管理技術委員長 向 田 満
（北川ヒューテック（株））

2. 日合協技術委員会

議事は、2026年度の「事業計画（案）」を山本技術委員、「予算（案）」を大谷日合協常務理事から説明があり、両案とも無事に可決されました。



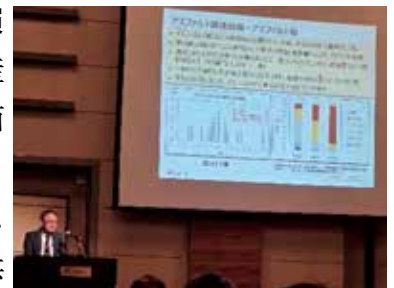
山本技術委員

なお、来年度の全国技術委員会は、東京で開催するとの報告がありました。

3. 全国技術委員長会議

（1）特別講演

出光興産（株）の遠西智次氏より「舗装用アスファルトの供給体制と物流



特別講演の様子

課題について」というテーマで講演がありました。

講演の内容は以下の3つの項目でした。

- i .石油産業とアスファルト
- ii .アスファルト輸送の課題・対策
- iii .サプライチェーンの老朽化と減少に対する対策取組み案

（2）東北地方の活動報告

開催地の東北各協会より活動報告がありました。日本アスファルト合材協会東北連合会からスタートし、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県の各アスファ

ルト合材協会の順に進みました。

東北連合会からは、東日本大震災の教訓として「各



活動報告の様子

工場のBCPの作成と訓練の必要性を痛感した」と報告がありました。

他協会からは、担い手確保などの取り組みの紹介がありました。

(3) 日合協の活動報告

- ①「中温化剤・中温化アスファルトを活用した中温化混合物の製造・施工に関する調査研究」について

技術部会中温化WGの江向俊文氏より、研究の経過や中温化合材の普及に関する取り組み、また今後の予定について報告ありました。

- ②「社会構造の変化に対応したアスファルト混合物再生利用技術に関する共同研究」について

技術部会再生WGの佐川聡氏より、研究の概要や2025年度の活動報告、また今後の予定について報告ありました。

(4) 各県技術委員長との意見交換・質疑応答

各県協会等から「中温化混合物」、「旧アス針入度20未満の再生骨材」「再生改質As混合物」など計11の質問や意見等が提出され、山本技術委員からの回答で対応さ

れました。

4. 総括

本日の会議の締めとして、2名の副委員長から総括がありました。

まず、海野副委員長からは、本日の円滑な議事運営や特別講演などに対するお礼、また新たな技術開発をお願いするコメントがありました。

次に、林副委員長からは、本日の報告の中で、「調査・検討」という言葉が多くあったが、「調査・検討」の後の「決断して実行」が大事であるとのコメントがありました。

5. 後記

10月1日に改正道路法が施行され、国では道路脱炭素化基本方針が策定されました。今年度内には各地方整備局ごとに道路脱炭素化推進計画が策定される予定です。

その後、高速道路会社や地方公共団体等にも拡がると聞いています。注目点として、この施策の一例にアスファルト合材の低炭素材料の開発と導入促進が掲げられています。技術委員会の役割がさらに重要になると感じました。

さて、今回の会場がJR仙台駅近くであったことから駅周辺を少し散策したところ、石川県では見ない自動販売機を見つけました。



ずんだシェイクの販売機

〈いしかわ我がまちアプト制度の活動〉



(主)金沢美川小松線・金沢市間明町 2025 夏)



(主)金沢美川小松線・金沢市間明町 2025 秋)

事務局アラカルト

1. 「道の日」クリーン作戦 (R7.7.25～8.5)

「道の日(8月10日)」及び「道路ふれあい月間(8月)」の行事として、道路環境保全と美化を目的に、昨年同様に早朝から、関係機関と合同で道路上の清掃美化作業を行いました。



・輪島地区 (R7.7.25)

石川県(奥能登土木総合事務所)主催の「頑張ろう能登・道路クリーン作戦」に、当協会員も参加して能登空港周辺道路を清掃しました。

・金沢地区 (R7.8.1)

50 m道路・金石街道など約7.1 kmを、石川県(道路整備課、県央土木総合事務所)、道路管理者連絡会及び協力賛同企業などと約160名で実施しました。

・小松地区 (R7.8.5)

当協会員42名が参加して小松インター八里線の約5.1 kmを、3年ぶりに石川県(南加賀土木総合事務所)や関係機関と合同で実施した。



2. 石川県土木部への要望活動 (R7.8.6)

本田土木部長ら県庁幹部に対して、北川会長をはじめ協会代表者は、本格化している災害復旧工事での適切な工事発注や柔軟な積算などの要望活動を行いました。また、大量に発生している As 殻廃材の搬出先確保もお願いしました。

なお、事務所要望は、震災対応で多忙のため県央土木のみとしました。

(要望内容)

- ・ 災害復旧工事の適切な対応
- ・ 国土強靱化実施中期計画の推進
- ・ 熱中症を考慮した現場作業



本田琢 石川県土木部長



駒田秀一 県央土木総合事務所長



3. 令和7年度 石川県品質管理実務研修 (アスファルト) (R7.8.29)

市町職員13名が、北川ヒューテック(株) 手取合材所にて、舗装について学びました。

(研修内容)

- ・ アスファルト舗装の施工と管理
- ・ アスファルト混合物と製造方法
- ・ 製造・破碎プラント見学
- ・ アスファルト関係試験実習 など



4. 「若部千里浜インター線 地方道改築工事 (飯山～尾長)」視察 (R7.10.8)

技術委員会と安全委員会は合同で、11月1日の供用開始に向けて鋭意整備を進めている(一)若部千里浜インター線 地方道改築工事における舗装工事などの現場視察を行いました。

当日は、中能登土木総合事務所の末富義章道路建設課長から当路線や国道159号羽咋道路の概要説明を受けた後、当該現場の工事概要や進捗状況の説明を受けました。

その後、現場に移動して現場視察を行うとともに、舗装を施工している盛進工業(株)の畑中氏から、供用日が決まっており完成を目指して工事を進めていると説明を受けました。



5. 金工大生の現場見学会〈プラント〉

(R7.10.21)

金沢工業大学高橋研究室の3年生8名は、北川ヒューテック(株)手取合材所を見学し、アスファルト混合物の製造過程や舗装に関する各種試験機器などプラント全般について学びました。



6. 品質管理技術委員研修会 (R7.11.21)

アスファルト合材協会の品質管理技術委員は、(一社)日本道路建設業協会北陸支部の水倉一夫企画調査課長から、事前審査での結果・改訂点や中温化適用混合物の申請及び事前審査制度の厳格化などを受講した。

また、工場立入調査結果報告のほか、向田委員長が10月に開催された「2025年度全国技術委員長会議」を概要報告した。(本誌P13)

(講義内容)

- ・ R7 事前審査申請、R8 中温化適用混合物の申請、事前審査制度の厳格化
- ・ 工場立入調査結果報告、全国技術委員長会議報告 など



令和7年度 石川県 国土と交通等に関する知事表彰



国土と交通等に関する知事表彰

(令和7年12月1日 授賞式)

◀ 優良建設工事 知事表彰

受賞・・・◆島屋建設株式会社

6 災 1013 号
主要地方道 金沢田鶴浜線
道路災害復旧工事（その2）

優良建設従業員 知事表彰▶

受賞・・・◆高木章夫
(辰村道路株式会社) 石川県舗装業協会推薦

受賞・・・◆東出浩明
(太陽工業株式会社) 小松能美建設業協会推薦

受賞・・・◆坂口雅嘉
(加州建設株式会社) 金沢建設業協会推薦

受賞・・・◆瀬端一郎
(株式会社金沢舗道) 金沢建設業協会推薦



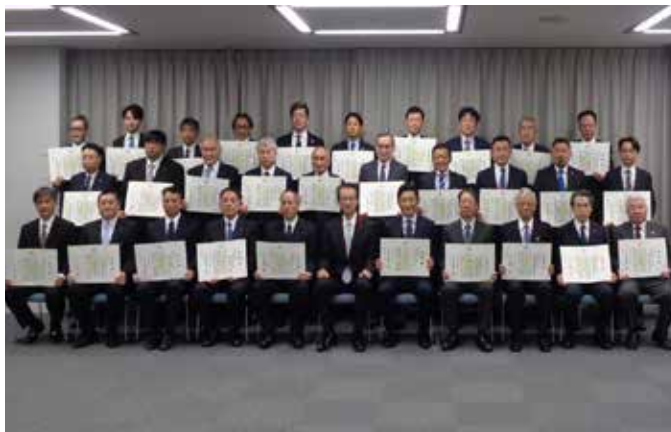
土木部優良建設工事表彰

◀土木部優良建設工事 部長表彰【ほ装】

(令和7年12月3日 授賞式)

受賞・・・◆北川ヒューテック株式会社
6 災 11 号 宇出津港災害関連
港湾環境整備施設 災害復旧工事
能登町宇出津 地内

受賞・・・◆太陽工業株式会社
主要地方道 金沢美川小松線
舗装補修（広域連携）工事（その1）
小松市大島町～坊丸町 地内



土木部優良建設工事 事務所長表彰【ほ装】

石川土木総合事務所長表彰

受賞・・・◆辰村道路株式会社：主要地方道 金沢美川小松線 地方道改築工事（舗装工その13）
白山市松本町 地内

中能登土木総合事務所長表彰

受賞・・・◆盛進工業株式会社：6 災 富来漁港 災害復旧工事（臨港道路）（舗装工）
志賀町西海風戸 地内

金沢港湾事務所長表彰

受賞・・・◆加州建設株式会社：金沢港改修（臨港道路無量寺湖南線）工事（舗装補修工その2）
金沢市湊2丁目～湊3丁目 地内

優良建設技術者 事務所長表彰

中能登土木総合事務所長表彰

受賞・・・◆谷内紀彰（島屋建設株式会社）：6 災 1013 号 主要地方道 金沢田鶴浜線 道路災害復旧工事（その2）

アスファルト混合物種類別出荷量調

石川県アスファルト合材協会 (単位:t)

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	As安定処理	(25,再生骨材30%以下)	6,542	6,416	2,841	1,278	1,886	2,135	1,767	3,966
		(25,再生骨材31%以上)	9,866	12,085	14,568	12,420	15,310	17,443	18,883	36,095
2	粗粒度アスコン	(20,再生骨材30%以下)	10,500	7,212	7,870	4,060	3,745	6,363	5,518	9,546
		(20,再生骨材31%以上)	28,179	29,952	31,828	34,768	29,160	39,026	54,526	60,578
3	密粒度アスコン	(20,再生骨材30%以下)	1,052	33				6	536	528
		(20,再生骨材31%以上)	0	3,141	2,424	2,395	1,494	4,563	1,742	1,604
4	密粒度アスコン	(20F,再生骨材30%以下)	24,961	42,439	22,530	13,884	14,976	12,081	13,108	20,617
		(20F,再生骨材31%以上)	39,077	47,482	49,063	49,173	51,981	56,239	45,810	72,398
5	密粒度アスコン	(20F,改質I型入)	0	0				181		
		(20F,改質II型入)	34,054	32,149	33,180	35,864	32,565	46,785	41,592	43,943
6	密粒度アスコン	(20FH,再生骨材30%以下)	0	1,366	276	814	413	221	1,296	304
		(20FH,再生骨材31%以上)	1,612	520	1,113	2,279	1,419	3,634	1,217	951
7	密粒度アスコン	(20FH,改質材入)	12,109	15,164	18,921	26,693	20,768	17,846	21,098	28,927
8	密粒度アスコン	(13,再生骨材30%以下)	2,922	1,428	892	1,278	1,708	2,640	4,815	5,964
		(13,再生骨材31%以上)	9,377	7,537	4,480	3,462	7,656	7,716	9,890	15,261
9	密粒度アスコン	(13F,再生骨材30%以下)	18,410	19,417	18,316	9,510	8,685	9,331	14,045	31,542
		(13F,再生骨材31%以上)	45,004	50,311	42,233	50,230	54,649	44,873	52,409	53,141
10	密粒度アスコン	(13FH,再生骨材30%以下)	0	0						
11	密粒度アスコン	(13FH,改質材入)	296	198	183	540	83	149	971	109
12	密粒度アスコン	(13F,改質I型入)	0	0						
		(13F,改質II型入)	1,812	1,698	2,914	4,677	2,611	2,739	3,134	2,686
13	密粒ギャップ	(13F,改質材入)	0	0						
14	細粒度アスコン	(5F)	4,365	4,504	3,988	3,768	3,747	3,980	10,598	23,424
15	細粒度アスコン	(13F,再生骨材30%以下)	1,057	844	763	714	848	855	1,732	1,650
16	開粒度アスコン	(13)	5,923	3,809	9,369	4,069	3,543	5,805	6,946	5,887
計			257,118	287,705	267,752	261,876	257,247	284,611	311,633	419,121
認定外	細粒度アスコン	(20)								
	細粒度アスコン		13,700	12,566	13,713	9,988	11,215	11,584	14,795	13,698
	排水性	(13)	0	194	4		186			
	排水性	(10)	0	0						
	排水性その他	(8)	0	48						
計			143,933	146,027	159,047	166,995	201,529	179,508	176,786	170,752
計			157,633	158,835	172,764	176,983	212,930	191,092	191,581	184,450
合計			414,751	446,540	440,516	438,859	470,177	475,703	503,214	603,571

(参考) 令和7年9月末 371.663t (R6.9末:286,228t)

編集後記

令和6年に能登半島を襲った地震と豪雨による被害について、県では今年度を「創造的復興元年」と位置づけ、本格的な復旧工事を進めていくこととしております。舗装業協会としても国や県、市町と十分連携を図りながら、効率的に復旧・復興を目指していければと思います。

さて、今年は東北や北海道を中心に人がクマに襲われる被害が相次いでいます。今年の特徴としては住宅地におけるクマの出没が急増しており、普通の日常生活を過ごす中で、熊に襲われるケー

スが多発しております。住宅地に姿を現すいわゆる「アーバンベア」はクマ本来の性格とは反対に、人間を恐れず、出くわしても逃げようとはしないそうで、本当に恐ろしいことです。

これまでに、市町村の判断で銃猟を行える緊急銃猟制度の創設、警察によるライフル銃を使った駆除、あるいは後方支援をするための自衛隊の出動などの対策が取られていますが、早く安心して暮らせる日常に戻ることを祈っています。

編集委員 平田浩一〈加州建設(株)〉

道しるべ 令和7年12月 第62号

編集・発行 一般社団法人 石川県舗装業協会

「道しるべ」編集委員会

事務局 一般社団法人 石川県舗装業協会

〒921-8036 金沢市弥生 2-1-23

石川県建設総合センター4F

TEL.076-244-1851 FAX.076-244-1833

E-mail: info@ishihokyo.or.jp



(一) 若部千里浜インター線〔尾長町から飯山町を望む〕



(防水)



(舗装)



(転圧)



(完成)

尾長大橋の橋面舗装

「道しるべ」最新2号分は、
(一社) 石川県舗装業協会の HP で閲覧できます。
<http://www.ishihokyo.or.jp/>



私たちは100% **リサイクル** に努力しています
アスファルト廃材はお近くの合材プラントへ!



盛進工業株式会社 深江工場

石川県アスファルト合材協会